

エリーダ・アルメイダ

日本・カーボベルデ
外交関係樹立
50周年記念

情熱と哀愁——アフリカン・ポップスの歌姫

ジャ
パン
・
ツアー

あなたの明日を、やさしく照らす歌。

予定曲目:
Dondona
Mexem
Bedjera
Djarmai
Morabeza
Domingo Denxo
他

特設サイト



Japan Tour
Elida Almeida

©Alex Tome

公演日程 | 2025年

11月5日 (水) 6:30p.m.

Niterra日本特殊陶業市民会館
フォレストホール

入場料金: ¥6,500 [全席指定] 〈税込〉

※未就学児童のご入場は固くお断りいたします。

主催: MIN-ON

後援: カーボベルデ共和国文化・創造産業省、カーボベルデ共和国大使館

◆チケットのお求めは

チケットぴあ [Pコード:305-358]

ローソンチケット [Lコード:43626]

Niterra日本特殊陶業市民会館 (窓口販売のみ)

栄プレチケ92 ☎052 (953) 0777

名鉄ホールチケットセンター ☎052 (561) 7755

<https://www.e-meitetsu.com/mds/hall/>

◆お問い合わせ

MIN-ON中部センター ☎052 (325) 5495



音楽の楽園カーボベルデの歌姫、来日!

16世紀以降、大西洋の貿易の要所として栄え、ポルトガル、アフリカ、中南米のさまざまな文化が交ざり合い発展した島国、カーボベルデ。エリーダ・アルメイダは、首都ブラヤのあるサンティアゴ島東部の人里離れた山岳地帯の小さな村で生まれた。道路も電気も、基本的な生活必需品もそろわない場所で、外界との唯一の接点である電池式のラジオから流れるフナナーやバトゥーケ、モルナといった伝統歌や、海の向こうのアフリカやヨーロッパの歌たちを聴きながら、彼女は少女時代を過ごした。

幼くして父を亡くし、16歳でシングルマザーとなったエリーダは、子育てと学業、そして母親の行商を手伝いながら、教会で歌い続けることで音楽への憧れを抱き続けた。そんな彼女の才能を見出したのは、カーボベルデ音楽を世界に知らしめた“裸足のディーヴァ”セザリア・エヴォラのプロデューサー、ジョゼ・ダ・シルヴァ。2014年にデビューしたエリーダは、波乱に満ちた半生を凝縮した歌声で瞬間に世界を魅了した。

彼女の音楽は、カーボベルデの人々にとって心の支えである伝統的なスタイルをルーツとしつつも、若さあふれる感性でポップスやジャズといった現代的な要素を大胆に取り入れた独創性が魅力だ。激動の半生、豊かな海と自然に囲まれ、信頼で結ばれたカーボベルデの国民性など故郷への想いを、穏やかで美しいメロディーに乗せて歌う新世代の歌姫、エリーダ・アルメイダ。彼女の希望の歌声は、日本の聴衆の心にも深く響くだろう。

—— 音楽ライター 田方春樹 (Música Terra)



©Alex Tome

エリーダ・アルメイダ

アフリカ・西沖合に位置する島国、カーボベルデ出身のシンガー・ソングライター。1993年、同国・サンティアゴ島生まれ。教会で歌声を磨き、ラジオ局での活動を通して音楽に親しむ。

2015年、デビューアルバム『Ora Doci Ora Margos (歌わずにはいられない)』が話題を呼び、新進音楽家を発掘する音楽賞・Prix Découvertes RFI (フランス) を受賞。

ヨーロッパ・北米・アフリカ各地のワールドミュージック系フェスに出演。温かく力強い歌声と「モルナ」など母国の伝統音楽にモダンな感性を融合した新世代アフリカン・ポップスをリードする歌姫として注目を集める存在である。



エリーダ・アルメイダの
心揺さぶる歌声を
YouTube・ストリーミング配信で。

▶ Spotify プレイリスト
『Discover Cabo Verde』

▶ YouTube
@elidaalmeida7287

アフリカ西沖に浮かぶ島国 カーボベルデとは?



カーボベルデ共和国 サンティアゴ島

CABO VERDE

大西洋に浮かぶ火山諸島・カーボベルデ共和国。無人島を含む10の島々は、美しい自然、さわやかな海風、そして温かな人々が織りなす、まさに“音楽の楽園”。エリーダの歌を通して、カーボベルデの風を体感してください。

Japan Tour
Elida Almeida